

事業所名

児童発達支援事業所 まゆみ

## 支援プログラム

作成日

令和8年

4月

1日

法人（事業所）理念		『自主性、積極性を育み 個性と創造性を引き出す保育と療育』								
支援方針		<p>(1) 利用児の基本的な人権を尊重し、暖かい愛情のもとに処遇し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与支援を実施する。</p> <p>(2) 利用児の身体状況に応じ考慮し、集団生活への適応訓練を親身に支援を実施する。</p> <p>(3) 地域に身近な療育の場として、利用児やその家族に対する適切な支援を実施する。</p> <p>(4) 就園、就学時に移行先と連携し、利用障害児が円滑な生活を送れるように支援を実施する。</p>								
営業時間		8時	0分	から	17時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	検温、手洗い、歯磨き、うがい、靴の脱ぎ履き、着替え、食事（給食、水分補給）、排泄、休息（午睡）								
	運動・感覚	散歩、リトミック、かけっこ、ボール（バランス）、ストレッチボール、バランスストーン、体育あそび（跳び箱、鉄棒、平均台、トンネルくぐり、マット） 水遊び、砂遊び、三輪車、ストライダー、なわとび、ほっくり、ハサミ、のり、お絵かき、シール貼り、ひも通し、お箸、粘土 姿勢の維持、行動障害への予防及び対応、感覚の特性（過敏や鈍麻）への対応								
	認知・行動	まねっこ遊び、パズル、積み木、ブロック、物や色の名前を覚える、数・量の認知、指示理解、時間（過去現在未来等）の理解、天気の確認、ルールのある遊び、マッチング								
	言語 コミュニケーション	あいさつ、返事、要求を伝える、質問に答える、絵本、ルールの視覚化、音楽あそび、困難（ヘルプ）を出し受け止めてもらう、ネガティブ感情の言語化								
	人間関係 社会性	身だしなみを整える、順番を守る、役割交代・分担、人の名前を覚える、人とのかわり、自己理解、公共の場でのマナーを知る								
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>ご家族にアプリの連絡帳(健康チェック等)を通してその日の様子をお知らせします。</li> <li>ご家族の心配事や困り事に寄り添い、相談を受けたり助言を行います。</li> <li>きょうだいに関する話しも伺い、ご家族のサポートを行います。</li> <li>ご家族の休息、リフレッシュできるように支援します。</li> </ul>				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>本児の強み、感覚や認知の特性を移行先と情報共有し、本児や受け入れ先が安心して過ごせるように支援し、移行後も定期的に訪問し、情報交換、共有、連携を継続的に行います。</li> <li>就園、就学等に関する情報提供を行います。</li> </ul>		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の公園や同法人の保育園に行き、地域の方や同年代の子どもと交流しています。</li> </ul>				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>内部研修、外部研修実施</li> </ul>		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>ミュージック・ケアや散歩、料理、リトミック、参観を毎月実施。</li> <li>季節の行事（お花見、野菜植え・収穫、夕涼み会、水遊び、運動会、七五三、ハロウィン、クリスマス、もちつき、まゆ玉飾り、節分、お別れ遠足）</li> <li>おしゃべり会（保護者同士の交流の場）を年に数回開催。</li> </ul>								